

福岡市の概要

○ 市政施行

明治 22 年 4 月 1 日

○ 政令指定都市移行

昭和 47 年 4 月 1 日

○ 行政区

7 区（東区、博多区、中央区、南区、城南区、早良区、西区）

○ 面積、人口（推計人口） ※令和 4 年 7 月 1 日現在

区 分	面積(k m ²)	人口(人)
福岡市	343.47	1,629,129
東 区	69.46	328,505
博多区	31.62	254,813
中央区	15.39	209,961
南 区	30.98	267,888
城南区	15.99	133,114
早良区	95.87	222,320
西 区	84.15	212,528

○ 自然・環境

福岡市は、市域面積約340km²、北は玄界灘に臨み、海の中道と糸島半島が抱く博多湾に面しており、背後は脊振や油山などの山々に囲まれた半月型の福岡平野に位置しています。山の標高は脊振山頂を除き1,000m以下で、その山懷を源とし、博多湾に注ぐ川は、多々良川、那珂川、室見川など数多くありますが、いずれも中小河川であり、大洪水もあまりないかわりに水量も多くありません。気候は年平均18.2℃（令和3年）と比較的温暖ですが、日本海型気候区に属しています。

人口162万人を超える大都市ですが、都心部から30分あれば、海、山の自然に触れることができ、都市的景観と身近な自然が程良く調和したヒューマンスケールの街でもあります。また、新鮮な魚介類も豊富なことから、9割を超える市民から「住みやすい都市である」との評価を得ています。

福岡市は、東アジアのほぼ中央にあり、釜山、ソウル、上海、北京、台北などの東アジアの主要都市が大阪、東京、札幌までの距離とほぼ同じ範囲内にあるため、国際線の定期航空路線も多く、日本国内だけでなく韓国、中国をはじめ、アジア諸国との交流には最適の位置にあります。

○ 経済

福岡市の産業構造は、事業所数、従業者数いずれにおいても、第3次産業が約9割を占めており、中でも卸売業・小売業と宿泊業・飲食サービス業が、事業所数でそれぞれ29.3%と14.5%、従業者数で23.4%と10.9%を占めています。

また、卸売業やサービス業、金融部門などにおいては厚い集積を見せ、九州市場における拠点都市としての役割を果たしています。